

公民館だより

清水西から

No.199
2022.10

清水西地区世帯数・人口 R4.10.1 現在 世帯数 1,028 人口 2,917 男 1,425 人 女 1,492 人
第199号発行 2022.10.22 福井市清水西公民館（福井市大森町 20-43-1 Tel/Fax 98-4560）

古風な中世の形態を残す神事芸能である国指定重要無形民俗文化財の「睦月神事」奉納まであと三か月余りとなった。本欄の今年五月号で「少子高齢化と新型コロナウイルス蔓延の中で迎える睦月神事」と題して、その継承が分岐点にあることを指摘した。

そこで今一度「睦月神事」を捉え直し、今後の伝統文化の保護・活用・継承のために何をなすべきか、とても難しい課題であるが、「睦月神事」の歴史を検証することによって地域社会に与えた影響を考えてみる。ことから始めたい。今回はその由来や変遷について取りあげたい。

「睦月神事」に包括される個々の演目や所作の意味、祭詞文の解釈は次回以降に譲りたい。

「睦月神事」がいつ頃始まったのかを記した史料は残念ながら見つからない。しかし、通説としておおよそ八百年前にかのぼるだろうといわれている。その根拠として、三点指摘できる。

第一点目は、志津の庄の田地四十町が寛治四年（一〇九〇）に太政官符によって京都賀茂御祖社（下鴨社）に施入されたことである。志津の庄の領主となった賀茂御祖社から荘園管理のために大森賀茂神社に派遣された荘官たちが伝えたのではないかと考えられるのである。

すなわち、志津の庄を国衙領から荘園へより円滑に移行させるために、政治的

睦月神事について（一）

「深く知りたい志津の歴史」
清水西公民館長 内田建

No.43

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	放課後子ども教室 ・カラオケ ・書道	・あじさいカラオケ ・KDっち ・健康体操	休館日 (文化の日)	・ヨガ	行政配布 しみず西遊輝 バルーンを飛ばそう!	
7	8	9	10	11	12	13
休館日	放課後子ども教室 ・カラオケ	・あじさいカラオケ ・健康体操	★すくすくひろば ・ハンドメイド ・エクサっち	★歴史散歩 ・ヨガ	★匠や2022 ・囲碁	
14	15	16	17	18	19	20
休館日	放課後子ども教室 ・カラオケ	★志津チャレンジ隊 ・あじさいカラオケ ・健康体操		・ヨガ	行政配布	★しみず西遊輝 & SKP イルミネーション取り付け作業
21	22	23	24	25	26	27
休館日	放課後子ども教室 ・カラオケ	休館日 (勤労感謝の日)	・囲碁 ・エクサっち	★趣味の園芸② ・ヨガ		★イルミネーション点灯式
28	29	30				
休館日	放課後子ども教室 ・カラオケ	★えいごといっしょ ・あじさいカラオケ ・KDっち ・健康体操				★教育事業 ・自主グループ

※新型コロナウイルス感染状況によって、変更、延期になることがあります。公民館までご確認ください。
問い合わせ先：清水西公民館 ☎&FAX0776-98-4560 (9:00~17:00 月曜日、第三日曜日、祝日休)

案内

【すくすくひろば⑥】

とき 令和4年11月10日(木)
10:00~11:20
場所 清水西公民館 和室
対象 地区在住の0~3歳までの乳幼児とその保護者
内容 トーンチャイム、読み聞かせ
講師 清水弘美氏



【歴史散歩】

とき 令和4年11月11日(金)
19:00~20:30
場所 清水西公民館 大会議室
対象 地区住民
内容 泰澄大師を知る
講師 山口賢治氏(越知山泰澄塾塾長)
※詳しくは別添のチラシをご覧ください。

【匠や2022 里山のめぐみ そば&うどん打ち】

とき 令和4年11月12日(土)
9:00~13:00
場所 清水西公民館 大会議室
内容 そば&うどん打ち
※詳しくは別添のチラシをご覧ください。

【志津チャレンジ隊⑦】

とき 令和4年11月16日(水)
15:30~17:00
場所 清水西公民館 大会議室
対象 清水西小学校4~6年の児童
内容 みつろうラップ、クレープ作り
講師 山本康代氏

【花のまちランプのまち 趣味の園芸②】

とき 令和4年11月25日(金)
19:00~20:30
場所 清水西公民館 大会議室
対象 地区住民
内容 クリスマスアレンジメント
参加費 2,000円
講師 井里美氏(県花き連絡協議会)
※詳しくは11月5日全戸配布予定のチラシ

【しみず西遊輝 イルミネーション点灯式】

とき 令和4年11月27日(日)
17:00~
場所 清水西公民館 駐車場
対象 地区住民
内容 カウントダウンで点灯
講師 山本康代氏

【えいごといっしょ⑦】

とき 令和4年11月30日(水)
10:00~11:00
場所 清水西公民館 和室
対象 地区在住の0~3歳までの乳幼児とその保護者
内容 Vehicles これ何の乗り物?
講師 山本康代氏

な統治と並行して、荘園を支える農民の意識変革が求められた。そのため、これまで見たことのない、当時京の都で流行していた田楽(稚児舞)を祭祀の仕組みの中に採り入れ、異質な文化を視覚させ、さらに祭詞文を媒介に農業生産性の向上を図るべく啓蒙する役割をこの祭礼を介して具体化させたのではないかと推測してある。

「扇本」五段の冒頭で歌われる「ギドロシソングイド」は荒地を新開地という意味を持つし、「士官取太夫詞」二番の末尾にある「中老若殿原打ちたつて野も山もうちひらいて志んがいで作りを召され候」の語句も新田開発を呼び掛けるものといえる。当時は荘園で新たに開発された田地はその荘園の所有地となるとされていたから、賀茂御祖社は志津の庄での荘園拡大も志向していたことが見て取れる。

このように賀茂御祖社による志津の庄の農民の精神的紐帯の醸成も含めて「睦月神事」が位置づけられるならば、一〇九〇年をそれほど下らない時期に起源を求められる。仮にそれが一〇〇〇年頃としても、「睦月神事」は九〇〇年以上の歴史があるといえる。

しかし先に述べたように、中央(京の都)で流行していた祭礼に伴う芸能が規模を小さく、あるいは一部簡略化して志津の庄に持ち込まれたとすれば、その両者を比較検討することによっておおよその時期は導き出されるのではないかと推測している。

私見ではあるが、稚児舞の「祝い中」と「さいやいや」は同じ一人舞でありながらその伴奏には大きな違いがある。「祝い中」は舞台を打ってリズム取るだけだが、「さいやいや」はさらに笛と大太鼓を伴っている。舞台効果を意図して演出されたものとしても「祝い中」という演目には極めて古い様式が内在しているように感じられる。

第二点目は「祝い中」「ささら」「さいやいや」などの田楽風といわれる稚児舞や田遊びと総称される「士官取太夫」(種時き)などの演目の内容や構成などから類推することができるであろう。いままで「睦月神事」に言及してきた多くの研究者は「古風」、「中世の面影を残す」等の形容を用いて鎌倉時代の始原を了解しているように見える。

第三点目は、現在も奉納の際に手本としている『賀茂雷社祭詞』を分析・検討することである。この書は大森家の先祖渡邊時重が安政六年(一八五九)に記したもので、代々その写本が重用され、現在まで伝えられている。この書の昭和三〇年の写しの序にある「神事の沿革」の項では「古老の伝ふるところに依れば、昔西京の儒僧某の作りたるものと云う」との記載があるだけで漠然としている。しかし、「扇本」「士官取太夫」「田囃子」「蚕囃子」等の詞や詞章の研究に取り組んできた人達もみられ、それらの研究の状況は次の機会に取り上げたい。



組んできた人達もみられ、それらの研究の状況は次の機会に取り上げたい。

志津チャレンジ隊5⑥

～SDGs 麦わらストローでスムージー～

日時： 9月21日(水)14:00～17:00
場所： 大会議室、調理室
参加者： 15名
講師： 山本康代氏



今回はプラスチックのごみ問題を学び、ごみの減量化のため、自然の素材、麦わらやイタドリでストローを作りました。そのストローを使用して、自分たちで作ったスムージーを飲みました。

太いイタドリの方が飲みやすいけど、少し臭いがあったという声がありました。

少しでも、プラスチックごみを減らし、環境に配慮したものを使っていきたいですね。



～SDGs 竹筒でさつまいもご飯炊き～

日時： 10月19日(水)13:30～16:30
場所： 大会議室、調理室、石窯前
参加者： 13名
講師： 山本康代氏



事前にボランティアの方が竹を切って作ってくれた竹筒でお米、水、サイの目に切ったさつまいもを入れ、薪で炊きました。

炊けるまで1時間ほど待っている間は、天気の良い曇一つない青空の下、走り回ってみんなで遊びました。

開けてみると、ホクホクのさつまいもご飯ができました。

竹を使えばご飯が炊けることが分かりましたという感想も出ていました。



第12回志津の里&第8回公民館まつり開催

開催日： 令和4年10月9日(日)14:30～17:30
来場者： 約300名

あいにくの雨で、ひんやりとしていましたが、それでも多くの方が、地域の宝である「SSTらんど」に会場され、にぎやかな一日となりました。当日の様子はYouTube(志津の里2022で検索)でご覧いただけます。



自主グループ KD っち



自主グループ カラオケクラブ



花壇表彰式



こどもひろば

伝承料理継承③

～子や孫に伝えたいふくいの料理②～

日時： 9月24日(土)9:00～12:00
場所： 調理室、小会議室
参加者： 17名
講師： 森下和歌枝氏(県食育リーダー)

吉田恵子氏(うらめしや2)

今回は、講師の方に調理していただき、参加者は講師の手元を見ながら、作り方全工程を見て学びやり方で開催しました。食材も身近にあるものを使ったメニューで「打ち豆ご飯」「サケとかぼちゃの甘酢あんかけ」「こんにゃくのあげ白和え」「なすとピーマンの炒め煮」でした。コロナ感染拡大時でもあり、

試食はお弁当にして皆さんにお持ち帰りしていただきました。



えいごといっしょ⑥

～Autumn 秋の実を楽しもう～

日時： 9月28日(水)10:00～11:00
場所： 和室
参加者： 8名
講師： 山本康代氏



少し涼しくなり、秋らしい気候になってきました。「大きな栗の木の下で」の歌を英語で歌いました。茶色の紙をくしゃくしゃにしてお母さんと一緒に chestnut(栗の実)作り。かわいい顔の書かれた栗をかごにぽーいと投げ入れて遊びました。たくさん入ったかな。

読み聞かせは「A Teddy Bear」茶色のクマさんの絵本を読んでもらいました。



すくすくひろば④

～工作～

日時： 10月13日(木)10:00～11:30
場所： 和室
参加者： 10名
講師： 清水弘美氏

秋の歌に合わせて、足指のマッサージをしました。それから一歩ずつ、ゆっくり駆け足してウォーキングしました。お母さんが赤ちゃんのあたま、かた、おなか、おしり、ひざを優しくマッサージしてあげました。

工作は、かわいらしいデザインのナプキンを板に貼り付ける「ナプキンデコ」と、うちわのデコパージュ作りをしました。



No.31 志津の庄ふるさと探訪

日時： 10月16日(日)10:00～12:00
場所： 本覚寺(笹谷町野口区)
参加者： 49名
共催： 清水西地区放課後子ども教室

今回の野口区は清水西地区で一番高い場所にあり、その中で最も高台にある本覚寺で開催しました。境内からの眺めは抜群です。気持ちのいい青空の下、狼煙の実証をしました。その後、貴船神社、ひょうたん溜、道しるべ おんど様などを散策し説明を聞きました。途中、お寺の方角を見上げると、狼煙の白い煙を見ることが出来ました。狼煙は中世時代の伝達ツールだったという話も聞きました。お寺に戻り、境内で遊んだ後は、ボランティアさん手作りの美味しい焼きそばをおなか一杯いただきました。



これから中地区の中の隠れた名所などを歩いて地区を深く知ることで、地区の良さを再発見してください。

～野口区編 狼煙の道～



清水西公民館HPのアクセスは下記のQRコードからどうぞ。志津の里&公民館まつりの最新映像もリンクされたYouTubeで、ご覧いただけます。



清水鼓友会



もちまき&菓子まき



ペットボトル点灯



トランペットヒーローズ

11月9日～15日は秋の火災予防運動

「上手な119番通報のしかた」

局番なしで119番に電話をかけて、繋がったら慌てず、落ち着いて次のことを伝えてください。

- ①「火事」か「救急」か
- ②住所や目標となるもの(建物や交差点の名前など)後は、わかる範囲で質問にお答えください

間違えて通報してしまった時は…
電話を切らずに、間違いであることを必ず伝えてください。

福井市南消防署(Tel.33-0119)

